

4 / 19

夏を迎える準備は万全 陶史の森で羊の毛刈り

夏の訪れを前に、陶史の森で飼育している羊の毛刈りが行われました。冬の厳しい寒さを乗り越えるために、体中を覆い隠すほどの毛を蓄えた羊たち。見物に訪れた親子連れが見守る中、バリカンで手際よく毛を刈られ、さっぱりとした姿へと変貌しました。刈り取った毛は、9月に開催する「陶史の森まつり」の毛糸つむぎ体験やマスコット作りなどに使用されます。



4 / 21

そよ風に揺れる花のカーテン 中山神明神社の藤棚

中山神明神社の境内にある藤棚が見頃を迎えました。この藤棚は氏子総代会が「花と緑の憩いの広場」になるように平成9年に藤の木を寄進したのが始まりで、地元の方が愛情を注いで育てた藤の木は大きな藤棚に成長し、今年も紫色やピンク色、白色の可憐な花が咲きました。甘い香りに誘われて多くの人を訪れ、そよ風に揺れる藤の花をうっとり眺めていました。



4 / 21

ふるさと駄知の自然を満喫 駄知小学校 たけのこ掘り

ふるさと駄知の魅力を知ってもらおうと、駄知小学校の4年生約50人が同町の竹林でたけのこ掘りを体験しました。子どもたちは、地面から顔をのぞかせるたけのこを見つけると、地域の方や先生に手伝ってもらいながらスコップで必死に掘り起こし、たけのこを掲げて歓声をあげました。また、この日の給食には地域の方が作ったたけのこの煮物も出され、旬の食材を味わいました。



4 / 22

作品に思いを込めて 文化団体連盟祭

市内の文化団体による作品の展覧会がセラトピア土岐で開催され、10団体の作品約180点が出品されました。会場にはそれぞれ思いのこもった力作が並び、来場者は作品を熱心に見学していました。陶芸の部で出品したアルマン・マデリンさんは、「土の扱いは難しいけれど、土で自分の表現したいことを作り出すのが楽しい」と作品作りの楽しさを話していました。

